

令和7年度ものづくり基盤技術入門研修事業 研修生募集

ものづくりを支える基盤技術企業を取り巻く厳しい状況の中で、技術の高度化や新事業の展開を推進することができる人材の育成は欠かせません。技術の高度化や新事業の展開を図るためには、基礎的な知識や技術の習得が必須です。当センターでは、意欲的な中小企業の皆様方の人材養成をサポートするため、下記のとおり「ものづくり基盤技術入門研修」を開講します。

関連分野の基礎的技術を習得できる機会ですので、ぜひ貴社の人材養成にお役立て下さい。

☆研修コース名 「A I 活用画像認識技術」

☆研修内容 プログラミング言語Pythonの基礎、Pythonを利用した領域分割や特徴取出などの画像処理、機械学習の基礎について、講義と実習で学びます。スケジュールは以下を予定しています。

基本技術（プログラミング言語Pythonの基礎、生成A I を活用したプログラミング、

Python/Scikit-imageによる画像の前処理（領域分割、特徴抽出）、

Python/Scikit-learnによる機械学習の基礎、Python/PyTorchによる深層学習の基礎）

応用技術（物体認識、外観検査（傷、汚れ、異物混入等））

☆研修日程と講師

令和7年 8月27日（水） 9：30～16：30

講師 森本 雅和 氏

（兵庫県立大学大学院准教授）

兵庫県立工業技術センター職員

☆研修対象者

原則として兵庫県内の中小企業*の技術者の方（定員に満たない場合は大企業の技術者の方でも受講可）

- ・工業高等専門学校卒業者以上もしくはこれと同等以上の専門知識・能力を有する方

* 中小企業とは、中小企業基本法第2条に規定する資本金3億円以下または従業員数300人以下の会社です。

☆受講定員 12名

*定員に達しない場合には中止となる可能性もございます。

（なお、中止となる場合の連絡は研修日の約3週間前に行います。）

*1社から複数名の参加申込みも受け付けますが、定員を超えた場合は、1社2名までとさせていただきます。

☆受講料（企業負担額） 1名につき4,000円

研修に必要な消耗品費、資料等の経費をご負担いただきます。

Python 開発環境として「Minconda/Visual Studio Code」を利用します。

研修に参加いただくために、ノートパソコンを持参していただく必要があります。

研修日当日の案内については、参加者決定後、ご案内いたします。

☆研修場所 兵庫県立工業技術センター（神戸市須磨区行平町3-1-12）

研究本館2階 セミナー室

☆申込期間 令和7年 7月 3日（木）～ 令和7年 7月30日（水）

☆申込方法

別紙様式1「ものづくり基盤技術入門研修申込書」に必要事項を記入の上、FAX、メール、持参のいずれかにより当センターへ提出してください。

※お申込み後、受講票及び受講料納付書を送付しますので、研修受講までに料金をお支払いください。

なお、お支払いいただいた受講料は研修を受講しなかった場合でも返還いたしません。

研修のお申込み、お問合せ

〒654-0037 神戸市須磨区行平町3-1-12

兵庫県立工業技術センター 生産技術部 電子・情報グループ（担当：金谷・平田）

e-mail : kanatani@hyogo-kg.jp

TEL: 078(731)4328 FAX: 078(735)7845 ホームページ: <https://www.hyogo-kg.jp>